

2019年3月31日

## 研究へのご協力をお願い

当院整形外科で特発性膝骨壊死に対して手術治療を受けられた患者さんへ

当院では以下の臨床研究を実施しておりますが、この研究は通常の診察で得られた過去の診療記録をまとめることによって行います。このような研究は文部科学省、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さん一人ひとりから直接同意を得ることを必ずしも必要とせず、研究内容の情報を公開し、必要に応じて研究への参加を拒否できる機会を保障することとされています。またこの研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

### 研究課題名：

特発性膝骨壊死の原因、増悪因子の検討

### 研究機関：

香川大学医学部附属病院 整形外科

### 研究責任者：

真柴 賛（整形外科 准教授）

### 研究の目的、意義：

特発性膝骨壊死は骨脆弱性を基盤とする骨折であり、その発症に関して半月板機能不全が関与していると推測されていますがその原因、増悪因子は明らかではない状態です。本研究では、特発性膝骨壊死の原因、その増悪因子を明らかにし特発性骨壊死の治療方法、治療成績向上の可能性を検討します。

### 対象となる患者様：

平成31年3月31日までに当院で大腿内側の特発性膝骨壊死と診断され手術治療を受けられた患者さん

### 研究方法：

特発性膝骨壊死に対して手術治療を受けた患者さんの単純X線検査、MRI検査、血液、尿検査、骨密度検査の結果を調査します。患者様に改めて検査や治療をお願いすることはありません。

### 利用している残余検体・診療情報の項目：

診療情報：年齢、BMI、単純X線画像、MRI検査、血液、尿検査データ 骨密度検査

### 個人情報の保護：

利用する情報からお名前、住所など患者さんを特定できる個人情報を削除し、管理します。また、研究成果は学会発表、学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。この研究について、研究計画に関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

ご自身の情報の使用をご了承いただけない場合は研究対象とはいたしませんので、下記連絡先までご一報下さい。この場合も診療などで不利益を被ることは決してありません。論文等で発表後は使用を取りやめることができませんのでご了承ください。

### 連絡先：

木田郡三木町池戸 1750-1 香川大学整形外科 担当医師：真柴 賛  
電話：087-891-2195 FAX：087-891-2196